

# I 一般廃棄物処理事業の概要



## 1 総括事項

### (1) 県内の状況

三重県の令和5年度末の市町数は14市15町、一部事務組合は9事務組合、広域連合は3広域連合です。

令和5年10月1日現在の行政区域内人口は、1,756,672人であり、令和4年度より15,888人の減少となりました。

なお、県内全域が「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条に基づく計画処理区域となっています。

区 分	県 計	市 計	町 計
面 積 (k m <sup>2</sup> )	5,774.48	4,031.95	1,742.52
世帯数 (世帯)	753,205	665,989	87,216
人 口 (人)	1,756,672	1,538,339	218,333

注1：面積と世帯数は「三重県県勢要覧(令和6年版)」記載数値、人口は一般廃棄物処理事業実態調査集計数値

### (2) 一般廃棄物処理事業経費

#### 1) 歳入及び歳出

廃棄物処理事業経費歳入の内訳は、一般財源が29,217,641千円(83.3%)、特定財源が5,849,423千円(16.7%)、合計が35,067,064千円で令和4年度より2.4%の増加となっています。

なお、割合としては、ごみ処理にかかる歳入が全体歳入額の85.0%を占めています。

一方、廃棄物処理事業経費歳出の内訳は、建設・改良費が1,617,410千円(4.6%)、処理及び維持管理費が31,425,387千円(89.7%)、その他が1,972,322千円(5.6%)となっています。

建設・改良費の内訳は、ごみ処理施設の建設に係る経費は1,536,059千円、し尿処理施設の建設に係る経費は81,351千円となっており、建設・改良費全体は令和4年度と比較して23.1%増加しています。また、処理及び維持管理費の内訳は、ごみ処理施設に係る経費は26,642,083千円、し尿処理施設に係る経費は4,783,304千円となっており、処理及び維持管理費全体は令和4年度から2.9%増加しています。

注1：比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため合計が100%にならないこともある。

## 【歳入内訳】

(単位：千円)

区 分		ご み	し 尿	計
特定財源	国庫支出金	66,232	23,408	89,640
	都道府県支出金	18,107	1,801	19,908
	地方債	608,900	77,600	686,500
	使用料及び手数料	2,886,345	173,971	3,060,316
	その他	1,944,071	48,988	1,993,059
	小 計	5,523,655	325,768	5,849,423
一般財源		24,273,237	4,944,404	29,217,641
合 計		29,796,892	5,270,172	35,067,064

注1：二重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

## 【歳出内訳】

(単位：千円)

区 分			ご み	し 尿	計	
建設・改良費	工事費	収集運搬施設	67,190	0	67,190	
		中間処理施設	916,338	47,051	963,389	
		最終処分場	433,062	0	433,062	
		その他	57,970	34,300	92,270	
	調査費		61,499	0	61,499	
	小 計		1,536,059	81,351	1,617,410	
処理及び維持管理費	人件費	一般職	1,730,181	448,219	2,178,400	
		技能職	収集運搬費	2,088,735	137,302	2,226,037
			中間処理費	592,912	45,010	637,922
			最終処分費	112,054	42,006	154,060
	処理費	収集運搬費	675,541	51,406	726,947	
		中間処理費	2,505,264	1,179,925	3,685,189	
		最終処分費	296,646	105,587	402,233	
	車両等購入費		72,794	0	72,794	
	委託費	収集運搬費	7,388,123	447,948	7,836,071	
		中間処理費	10,484,687	2,182,277	12,666,964	
		最終処分費	447,620	29,540	477,160	
		その他	223,078	112,749	335,827	
	調査研究費		24,448	1,335	25,783	
	小 計		26,642,083	4,783,304	31,425,387	
その他		1,618,750	353,572	1,972,322		
合 計		29,796,892	5,218,227	35,015,119		

注1：二重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

(3) 廃棄物処理施設

1) ごみ処理施設

ごみ処理施設は、8市2町4事務組合等に17施設設置され、  
処理能力は2,168 t / 日です。

施設種別	焼却処理施設			ごみ燃料化 施設	合計
	全連続	准連続	バッチ		
施設数	11	0	4	2	17
処理能力 (t / 日)	1,958	0	169	41	2,168

※ 令和5年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

2) 粗大ごみ処理施設

粗大ごみ処理施設は、4市4事務組合等に10施設設置され、  
処理能力は333 t / 日です。

施設種別	破碎施設	圧縮施設	併用施設	計
施設数	8	0	2	10
処理能力 (t / 日)	292	0	41	333

※ 令和5年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

3) 資源化等を行う施設

資源化等を行う施設は、6市3町5事務組合等に17施設設置され、  
処理能力は639 t / 日です。

施設種別	選別	圧縮・梱包	ごみ堆肥化	ごみ飼料化	その他	計
施設数	13	12	0	0	3	17
処理能力 (t / 日)	214	342	0	0	83	639

※ 令和5年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

#### 4) 最終処分場

最終処分場は、11市6町3事務組合等に25施設設置されており、年間埋立量は15,323m<sup>3</sup>、全体容量は4,919,784m<sup>3</sup>、残余容量は505,014m<sup>3</sup>です。

施設種別	山間	平地	計
施設数	20	5	25
全体容量(m <sup>3</sup> )	4,623,989	295,795	4,919,784
年間埋立量(m <sup>3</sup> )	14,336	987	15,323
残余容量(m <sup>3</sup> )	448,288	56,726	505,014

※ 令和5年度末現在において新設(建設中)、休止、廃止の施設を除く。

※ 埋立終了施設は含む。

#### 5) し尿処理施設

し尿処理施設は、6市1町7事務組合等に15施設設置されており、処理能力は2,205kℓ/日です。

施設種別	嫌気性	好気性	標準脱窒素	高負荷脱窒素	膜分離	下水投入	計
施設数	0	0	4	10	9	0	15
処理能力(kℓ/日)	0	0	653	1,517	982	0	2,205

※ 令和5年度末現在において新設(建設中)、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

(4) 一般廃棄物処理事業従事職員（自治体）

令和5年度末における一般廃棄物処理事業従事職員は、ごみ処理で739人、し尿処理で86人が従事しており、ごみ処理従事者が89.6%を占めており、ごみ処理従事者のうち、収集運搬職員が47.8%を占めています。

（単位：人）

	一般職		技能職				合計
	事務系	技術系	収集運搬	中間処理	最終処分	その他	
ごみ処理	212	33	353	112	19	10	739
し尿処理	46	9	17	13	0	1	86
合計	258	42	370	125	19	11	825

(5) 一般廃棄物処理業者関係

一般廃棄物処理の委託・許可件数は、ごみ処理の委託業として241件、許可業として1,872件あり、うち、収集運搬に伴う件数が95.2%を占めています。

し尿処理の委託・許可件数は、委託業として20件、許可業として124件あり、ごみ処理と同様、収集運搬が大部分で92.4%を占めています。

また、業者数としては、合計934業者、8,971人の従業員が従事しています。

（単位：件）

	収集運搬		中間処理		最終処分		合計	
	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業
ごみ処理	187	1,824	40	47	14	1	241	1,872
し尿処理	12	121	4	3	4	0	20	124
合計	199	1,945	44	50	18	1	261	1,996

	ごみ（し尿兼業を含む）	し尿（ごみ兼業を含む）	業者数の実数の計
業者数（件）	865	99	934

	収集運搬 （他処理を含む）	中間処理 （他処理を含む）	最終処分 （他処理を含む）	従業員数の 実数の計
従業員数（人）	8,044	950	13	8,971

(6) 収集運搬機材

市町・一部事務組合等、委託業者及び許可業者の所有するごみの収集運搬機材の合計台数は8,953台、積載量は23,050tです。

また、し尿の収集運搬機材の合計台数は714台、積載量は2,811kℓです。

ごみ収集運搬機材(積載量:t)													
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	
		収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理		
台数	215	65	17	0	650	59	29	7	7,094	802	0	15	8,953
積載量	519	105	59	0	1,670	139	174	97	17,439	2,660	0	188	23,050

し尿収集運搬機材(積載量:kℓ)													
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	
	バキューム車	その他			バキューム車	その他			バキューム車	その他			
台数	10	0	0	0	60	4	17	2	558	33	28	2	714
積載量	18	0	0	0	246	10	121	52	2,044	151	124	45	2,811



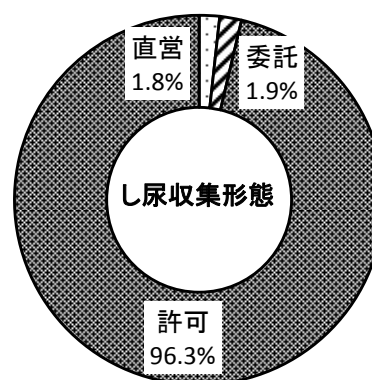
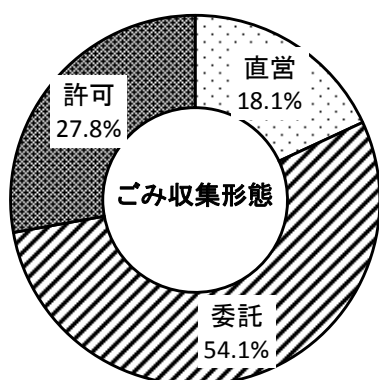
(7) 収集形態

ごみの収集量は 505,816 t / 年（令和4年度比：3.5%減少）、し尿（浄化槽汚泥を含む）の収集量は 562,541 kℓ / 年（令和4年度比：2.3%減少）です。

形態別のごみの収集量は、直営が 91,588 t / 年（令和4年度比：4.6%減少）、委託が 273,567 t / 年（令和4年度比：4.0%減少）、許可業者によるものが 140,661 t / 年（令和4年度比：1.9%減少）です。

形態別のし尿の収集量は、直営が 10,080 kℓ / 年（令和4年度比：85.0%増加<sup>※1</sup>）、委託が 10,713 kℓ / 年（令和4年度比：7.0%減少）、許可業者によるものが 541,748 kℓ / 年（令和4年度比：3.1%減少）です。

区 分		収 集 量 ごみ：(t / 年) し尿：(kℓ / 年)	構 成 (%)	前年度比 (%)	
ご み	市町・組合によるもの	直 営	91,588	18.1	-4.6
		委 託	273,567	54.1	-4.0
		小 計	365,155	72.2	-4.1
	許可業者によるもの		140,661	27.8	-1.9
	計		505,816	100.0	-3.5
	災害廃棄物		0	0.0	前年度実績なし
	合 計		505,816	100.0	-3.5
し 尿	市町・組合によるもの	直 営	10,080	1.8	85.0
		委 託	10,713	1.9	-7.0
		小 計	20,793	3.7	22.5
	許可業者によるもの		541,748	96.3	-3.1
	合 計		562,541	100.0	-2.3



※<sup>1</sup> 昨年度集計誤りによる増加。

(8) 処理形態

ごみの処理量は、565,351 t / 年（令和4年度比：3.6%減少）、し尿（浄化槽汚泥を含む）の処理量は562,541 kℓ / 年（令和4年度比：2.3%減少）です。

形態別のごみの処理量として、直接焼却処理量は478,541 t / 年（令和4年度比：3.2%減少）、粗大ごみ処理量は24,097 t / 年（令和4年度比：2.7%減少）、堆肥化処理量は1,109 t / 年（令和4年度比：6.2%増加）、メタン化処理量は162 t / 年（令和4年度実績なし）、燃料化処理量は5,612 t / 年（令和4年度比：2.4%減少）、その他資源化等処理量は28,047 t / 年（令和4年度比：2.1%減少）、その他処理量は561 t / 年（令和4年度比：11.1%減少）、直接資源化量は22,295 t / 年（令和4年度比：11.7%減少）、直接埋立量は4,572 t / 年（令和4年度比：13.2%減少）です。また、自家処理量は355 t / 年（令和4年度比：0.3%増加）です。

し尿の形態別処理量として、し尿処理施設での処理量は562,541 kℓ / 年（令和4年度比：2.3%減少）です。

区 分		処理量		前年度比 (%)	
		ごみ：(t/年)	し尿：(kl/年)		
ご み	処理施設による 処 理 量※	直接焼却	478,541	84.6	-3.2
		粗大ごみ処理	24,097	4.3	-2.7
		堆肥化	1,109	0.2	+6.2
		飼料化	0	0.0	前年度実績なし
		メタン化	162	0.0	前年度実績なし
		燃料化	5,612	1.0	-2.4
		その他資源化等	28,047	5.0	-2.1
		そ の 他	561	0.1	-11.1
		直接資源化	22,295	3.9	-11.7
		直接埋立	4,572	0.8	-13.2
		小 計	564,996	99.9	-3.6
	自 家 処 理	355	0.1	+0.3	
	計	565,351	100.0	-3.6	
し 尿	処理施設による 処 理 量	し尿処理	562,541	100.00	-2.3
		ごみ堆肥化	0	0.0	前年度実績なし
		メタン化	0	0.0	前年度実績なし
		下水道投入	0	0.0	前年度実績なし
		農地還元	0	0.0	前年度実績なし
		そ の 他	0	0.0	前年度実績なし
		小 計	562,541	100.0	-2.3
	自 家 処 理	0	0.0	前年度実績なし	
計	562,541	100.0	-2.3		

※施設での処理量を計上。

## 2 ごみ処理

### (1) ごみ処理

ごみ処理の計画処理区域は県内全域となっており、計画収集区域内人口のうち計画収集人口は1,756,672人です。

ごみ総排出量は、573,569 t / 年で前年度比 3.7%減少しています。このうち処理施設で564,996 t / 年(98.5%)処理されており、残りの大部分の8,640 t / 年(1.5%)が集団回収されています。

処理施設で処理されるもののうち、焼却施設等で処理、再資源化される量(埋立以外)は560,424 t / 年で全体の99.2%を占めています。

一方、直接埋立量は4,572 t / 年で前年度比13.2%の減少、集団回収量は8,640 t / 年で前年度比11.4%の減少です。

自家処理量は、355 t / 年であり、前年度比0.3%の増加です。

また、資源化率は19.5%となり、昨年度と比べ0.2%減少しました。

ごみの排出量の推移をみると、総排出量は減少傾向が続いています。今後もより一層、ごみの再資源化と併せ、住民と一体となった減量化に向けた取組を推進していく必要があります。

市町別に一人一日あたりのごみの排出量を比べると、各市町間の格差は大きい状態が続いています。

ごみの発生量についても地域格差が見られることから、管内の状況を十分把握し、将来にわたり安定した適正な処理ができるよう、地域特性に十分配慮した一般廃棄物処理計画の策定や3Rの推進について一層努めていくことが必要です。

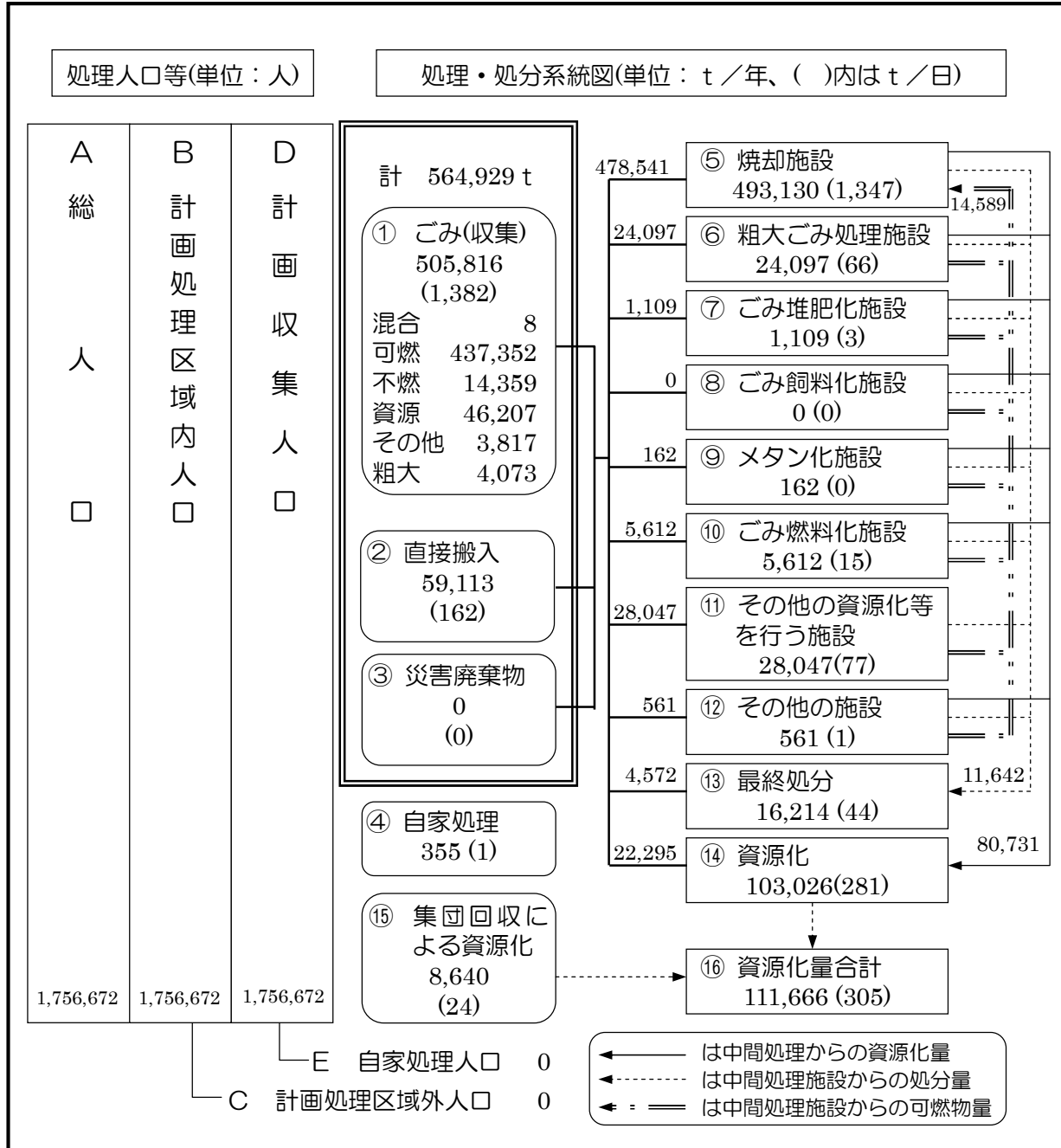
ごみ処理全体の維持管理費等の経費は、26,642,083千円であり、1tあたりの処理に要する経費は47,154円(26,642,083千円÷564,996t)となり、令和4年度と比較して3,848円/t高くなりました。

## (2) ごみ処理の状況

項目		数値	単位		
計画収集人口等	計画収集区域内面積		5,774.48	km <sup>2</sup>	
	計画収集区域内人口		1,756,672	人	
	計画収集人口		1,756,672	人	
	自家処理人口		0	人	
収集形態別内訳	収集ごみ	市町・組合によるもの	直 営	91,588	t/年
			委 託	273,567	t/年
			小 計	365,155	t/年
		許可業者によるもの		140,661	t/年
		計		505,816	t/年
		直接搬入ごみ		59,113	t/年
		災害廃棄物		0	t/年
		合 計		564,929	t/年
処理内訳	処理形態別内訳		直接焼却	478,541	t/年
			粗大ごみ処理	24,097	t/年
			堆肥化	1,109	t/年
			飼料化	0	t/年
			メタン化	162	t/年
			燃料化	5,612	t/年
			その他資源化等	28,047	t/年
			そ の 他	561	t/年
			直接資源化	22,295	t/年
			直接埋立	4,572	t/年
	小 計	564,996	t/年		
集 団 回 収 量		8,640	t/年		
総 排 出 量		573,569	t/年		
自 家 処 理 量		355	t/年		
総 排 出 量 (参考)		565,284	t/年		

※「総排出量(参考)」＝「収集ごみ量」＋「直接搬入ごみ量」＋「自家処理量」＋「災害廃棄物」

(3) ごみ処理のフロー図



【三重県】

- 計画収集区域率 B/A=100%      • 計画収集率 D/A=100%
- 計画収集量 ①=505,816 t/年      • 計画処理量 ①+②+③=564,929 t/年
- 総排出量 ①+②+③+⑮=573,569 t/年
- 1人1日あたりのごみ排出量 (①+②+③+⑮) × 10<sup>6</sup> / (B × 366) = 892 g/人・日
- 資源化率 ⑯ / (①+②+③+⑮) = 19.5%
- 再利用率 (⑯ - (⑮+⑩からの資源化量+⑤からの資源化量)) / (①+②+③) = 12.5%
- 減量処理率 (①+②+③-⑬) / (①+②+③) = 97.1%

【全国】※災害廃棄物を除く。(出典：日本の廃棄物処理 令和4年度版)

- 総排出量 4,034 万 t/年      • 計画処理量 3,884 万 t/年
- 1人1日あたりのごみ排出量 880 g/人・日
- 資源化率 19.6%      • 減量処理率 99.1%

※再利用率 (⑯-⑮-(溶融スラグ+固形燃料+セメント原料+山元還元)) / (①+②+③)

(4) ごみ処理形態の推移

項目 / 年度	単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
総人口	人	1,756,672	1,772,560	1,785,633	1,800,585	1,812,396
計画処理区域内人口	人	1,756,672	1,772,560	1,785,633	1,800,585	1,812,396
計画収集量	t/年	505,816	524,120	538,541	546,136	552,665
直接搬入量	t/年	59,113	61,718	62,902	65,095	61,319
集団回収量	t/年	8,640	9,751	9,947	11,051	14,228
災害廃棄物	t/年	0	0	0	0	91
ごみ総排出量	t/年	573,569	595,589	611,390	622,282	628,303
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	892	921	938	947	947
自家処理量	t/年	355	354	349	345	342
ごみ総排出量(参考)	t/年	565,284	586,192	601,793	611,576	614,417
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	879	906	923	931	926
直接焼却量	t/年	478,541	494,498	502,176	508,190	479,737
直接資源化量	t/年	22,295	25,248	26,608	26,825	26,421
直接埋立量	t/年	4,572	5,265	6,124	5,116	6,737
堆肥化量	t/年	1,109	1,044	505	564	648
その他中間処理量	t/年	58,479	59,783	66,002	72,108	100,924
計	t/年	564,996	585,838	601,415	612,803	614,467
最終処分量	t/年	16,214	19,074	20,601	19,467	22,015
生活系ごみ	t/年	406,735	424,141	440,211	450,306	441,152
事業系ごみ	t/年	158,194	161,697	161,232	160,925	172,832
資源化率	%	19.5	19.7	20.0	20.5	23.1
再利用率	%	12.5	12.0	12.2	12.0	11.7
項目 / 年度	単位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
総人口	人	1,820,731	1,829,745	1,834,621	1,836,741	1,827,595
計画処理区域内人口	人	1,820,731	1,829,745	1,834,621	1,836,741	1,827,595
計画収集量	t/年	553,688	556,704	556,872	562,951	571,059
直接搬入量	t/年	60,052	56,297	61,784	61,187	56,798
集団回収量	t/年	14,875	16,771	17,737	20,618	23,044
災害廃棄物	t/年	0	1,449	0	22	0
ごみ総排出量	t/年	629,059	631,221	636,393	644,778	650,901
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	947	945	950	959	976
自家処理量	t/年	330	335	334	329	329
ごみ総排出量(参考)	t/年	614,070	614,785	618,990	624,489	628,186
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	924	921	924	929	942
直接焼却量	t/年	438,992	435,551	439,336	424,243	421,237
直接資源化量	t/年	27,861	28,574	30,466	32,890	35,755
直接埋立量	t/年	10,409	7,572	6,443	17,756	19,429
堆肥化量	t/年	1,385	1,309	1,289	1,350	1,391
その他中間処理量	t/年	141,178	141,342	140,462	147,920	150,045
計	t/年	619,825	614,348	617,996	624,159	627,857
最終処分量	t/年	24,551	21,807	20,963	36,049	37,776
生活系ごみ	t/年	439,409	435,267	439,321	445,144	452,644
事業系ごみ	t/年	174,331	177,734	179,335	178,994	175,213
資源化率	%	26.7	27.3	27.4	28.5	29.7
再利用率	%	12.3	12.4	13.5	14.5	15.1

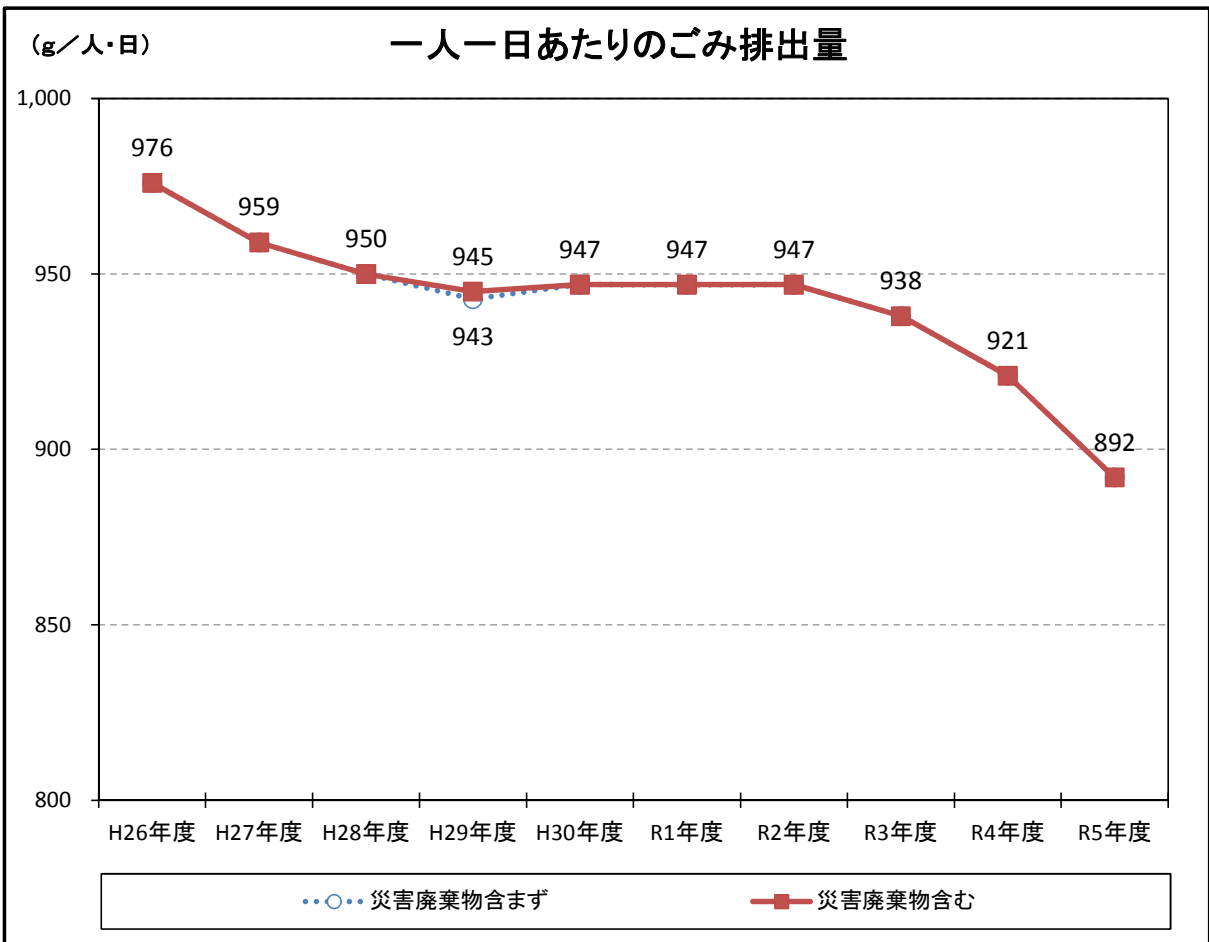
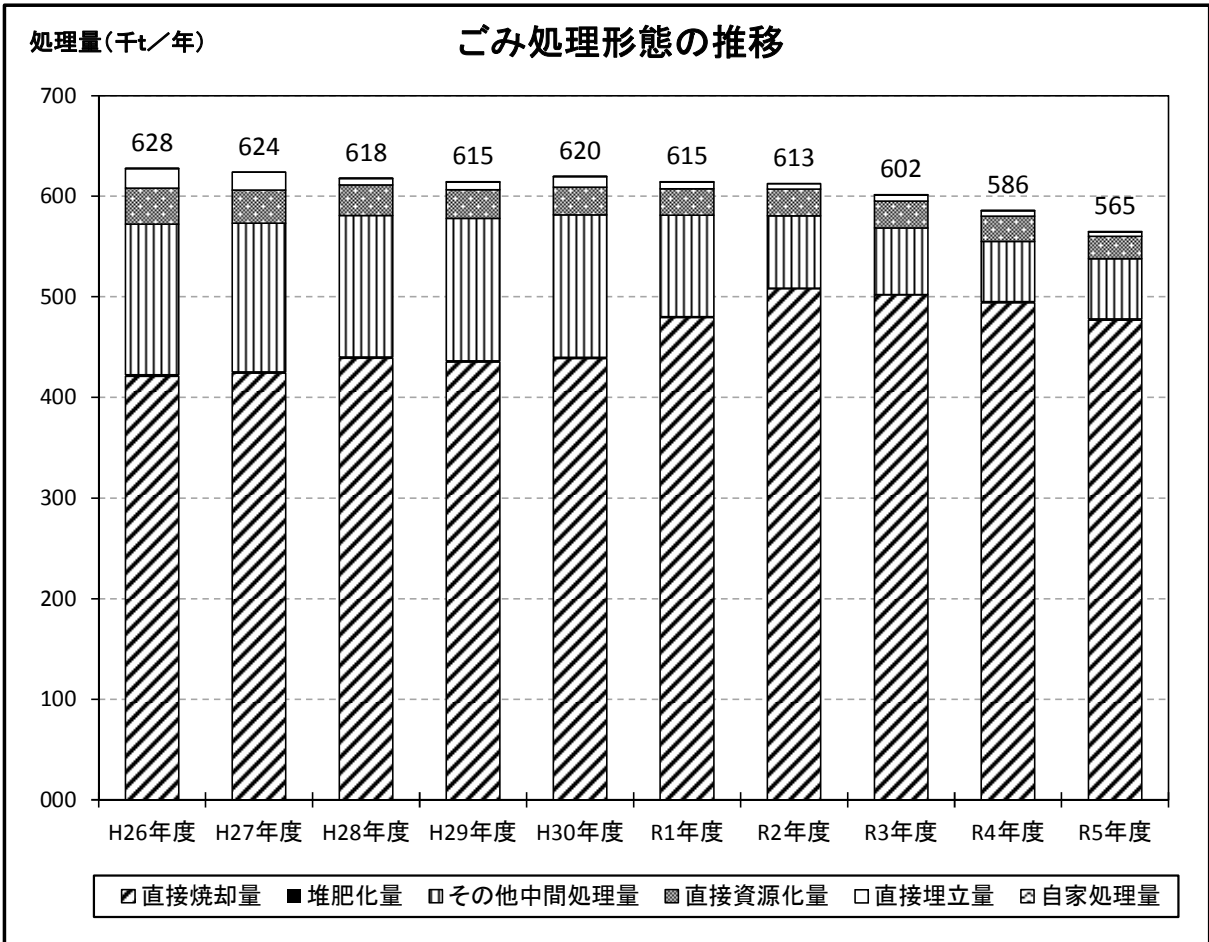
※ 「その他中間処理量」とは、中間処理施設(「焼却施設」、「ごみ堆肥化施設」を除く。)による処理量です。

※ 「生活系ごみ」には、「集団回収量」は含んでいません。

※ 平成23年度実績より、災害廃棄物が別集計となったため、項目を追加しています。

災害廃棄物は、生活系・事業系の区分はありません。

※ 「総排出量(参考)」=「収集ごみ量」+「直接搬入ごみ量」+「自家処理量」+「災害廃棄物」



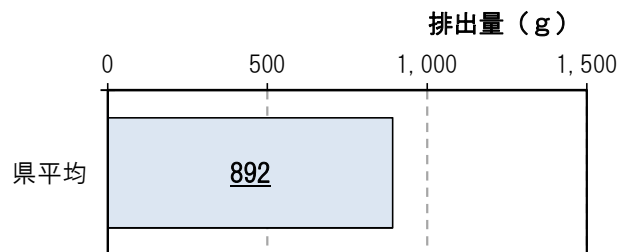
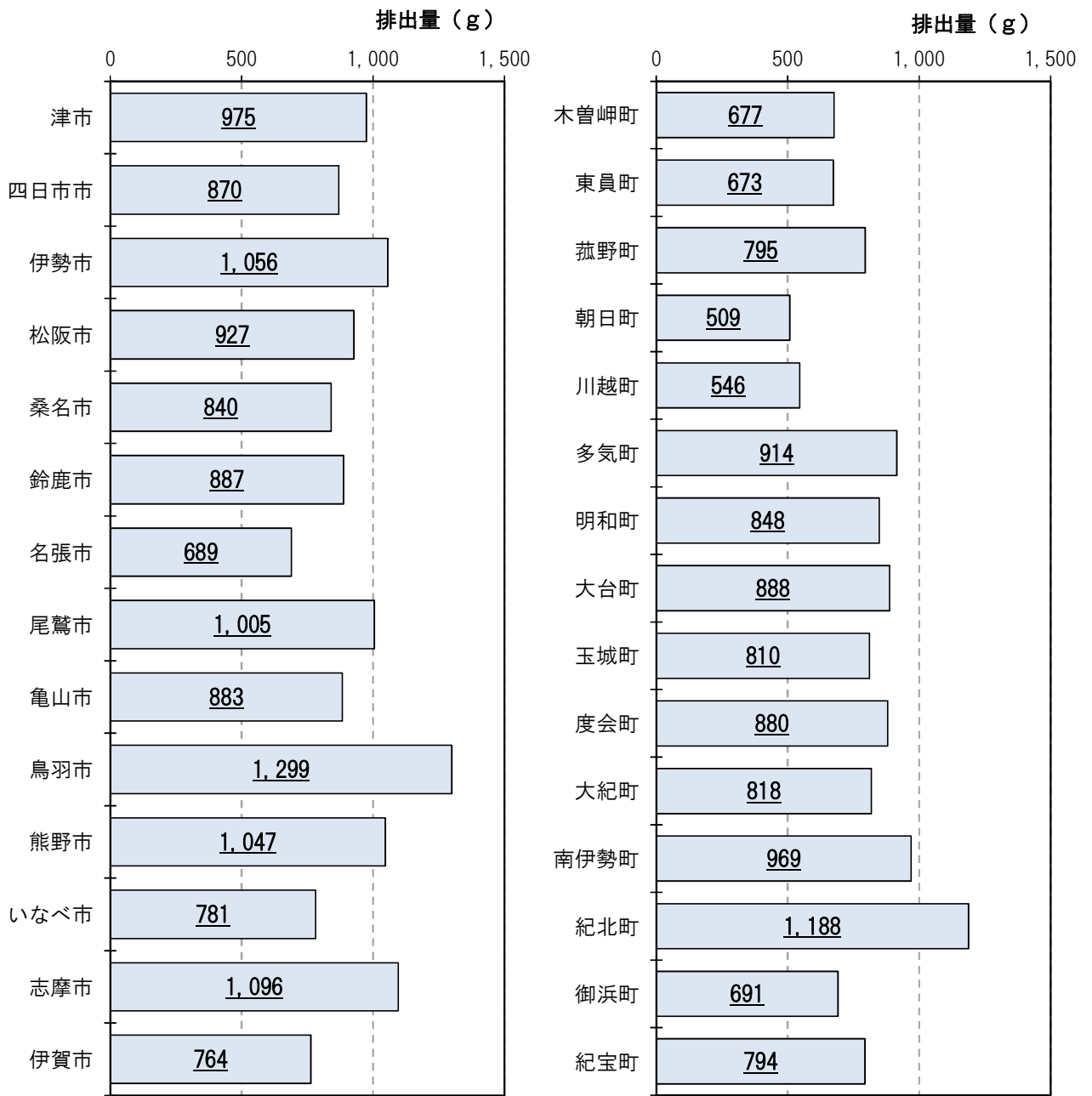


## (5) 1人1日あたりのごみ排出量

(g/人・日)

市町名	令和5年度 実績	令和4年度 実績	令和3年度 実績	令和2年度 実績
津市	975	985	998	1,018
四日市市	870	913	924	929
伊勢市	1,056	1,083	1,097	1,106
松阪市	927	956	991	976
桑名市	840	858	1,002	1,032
鈴鹿市	887	928	923	935
名張市	689	712	725	740
尾鷲市	1,005	1,036	1,047	1,011
亀山市	883	937	944	971
鳥羽市	1,299	1,324	1,236	1,221
熊野市	1,047	1,087	1,023	1,027
いなべ市	781	818	826	810
志摩市	1,096	1,119	1,080	1,048
伊賀市	764	779	787	790
木曾岬町	677	673	684	715
東員町	673	702	727	758
菰野町	795	810	804	811
朝日町	509	536	567	554
川越町	546	593	606	607
多気町	914	982	904	934
明和町	848	873	873	858
大台町	888	877	887	885
玉城町	810	839	860	856
度会町	880	912	945	956
大紀町	818	831	833	821
南伊勢町	969	965	889	996
紀北町	1,188	1,226	1,198	1,224
御浜町	691	716	709	708
紀宝町	794	802	794	817
県平均	892	921	938	947

【1人1日あたりのごみ排出量】



### 3 し尿処理

#### (1) し尿処理

し尿処理の計画処理区域は県内全域になっており、計画処理区域内人口は1,756,672人であり、そのうち水洗化人口は、1,680,212人(95.6%)、非水洗化人口は76,460人(4.4%)です。

水洗化人口の内訳は、公共下水道人口993,298人(59.1%)、浄化槽人口607,646人(36.2%)、集落排水施設等人口75,618人(4.5%)コミュニティ・プラント人口3,650人(0.2%)です。また、非水洗化人口のうち計画収集人口は76,460人(100.0%)、自家処理人口は0人(0.0%)です。

令和4年度と比べると、水洗化人口では公共下水道人口が14,331人増加、浄化槽人口が21,742人減少、集落排水施設等人口が1,784人減少、コミュニティ・プラント人口が22人減少しています。

なお、非水洗化人口のうち、計画収集人口は6,671人減少しています。

し尿の計画収集量は、し尿が81,520kℓ/年(14.5%)、浄化槽汚泥が481,021kℓ/年(85.5%)で収集総量は562,541kℓ/年です。また、自家処理量は0kℓ/年です。

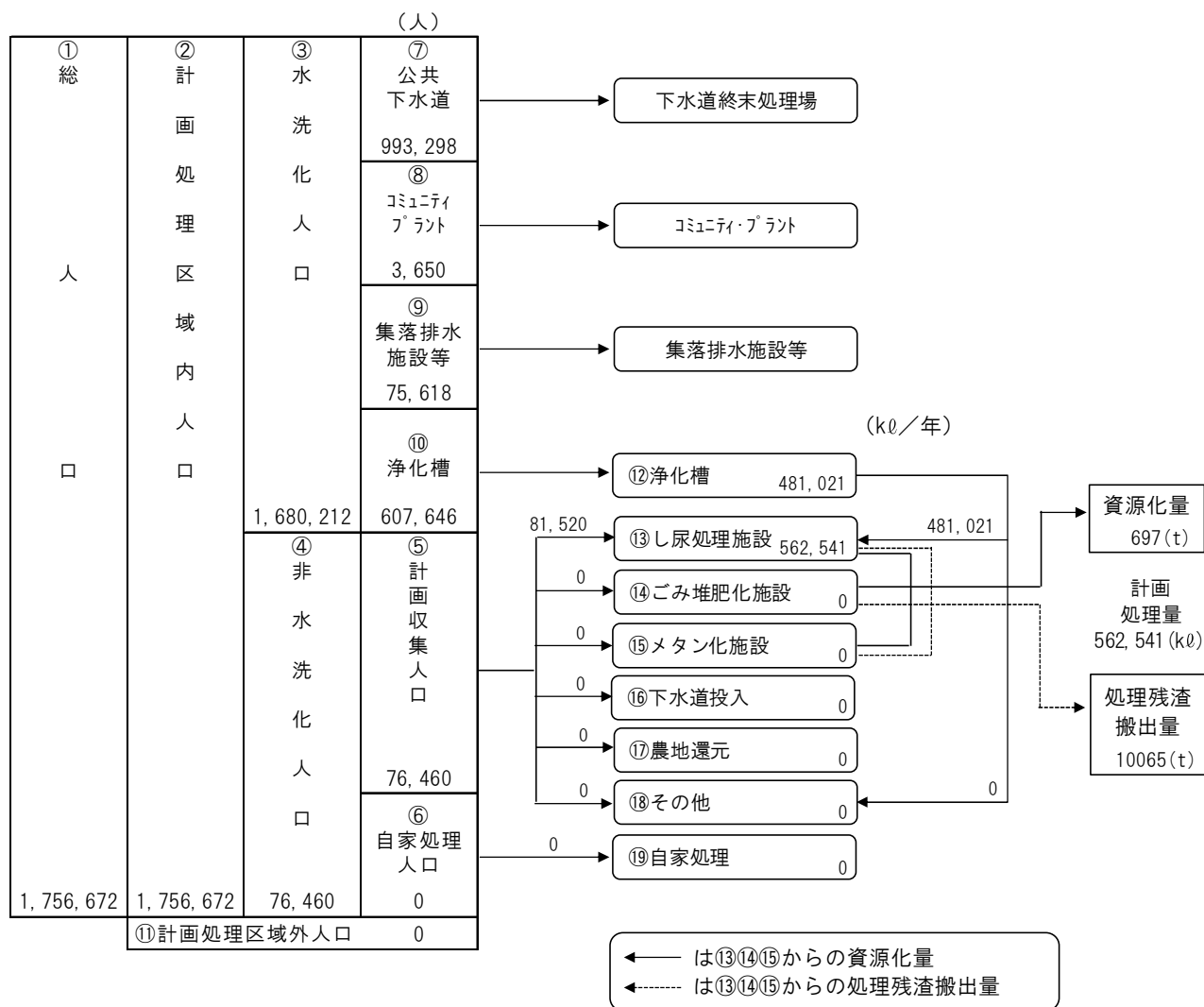
令和4年度と比べると、計画収集総量は13,283kℓ/年減少し、自家処理量は増減がありませんでした。

し尿処理全体の維持管理費等の経費は、4,783,304千円であり、1kℓあたりの処理に要する経費は8,503円(4,783,304千円÷562,541kℓ)となり、令和4年度と比較して464円/kℓ安くなりました。

## (2) し尿処理の状況

項目		数値	単位		
計画 収集 人口 等	計画収集区域内面積		5,774.48	km <sup>2</sup>	
	計画収集区域内人口		1,756,672	人	
	水洗化 人口	公共下水道人口		993,298	人
		コミュニティ・プラント人口		3,650	人
		集落排水施設等人口		75,618	人
		浄化槽人口		607,646	人
		内 訳	単 独 浄 化 槽 人 口	139,405	人
			合 併 浄 化 槽 人 口	466,182	人
			そ の 他 浄 化 槽 人 口	2,059	人
		水洗化人口 計		1,680,212	人
	非水洗化 人口	計画収集人口		76,460	人
自家処理人口		0	人		
非水洗化人口 計		76,460	人		
収集 形態 別 内 訳	市町・組合によるもの	直 営	10,080	kℓ / 年	
		委 託	10,713	kℓ / 年	
		小 計	20,793	kℓ / 年	
	許可業者によるもの		541,748	kℓ / 年	
	計		562,541	kℓ / 年	
種 類 別 内 訳	し尿		81,520	kℓ / 年	
	浄化槽汚泥		481,021	kℓ / 年	
	計		562,541	kℓ / 年	
処 理 内 訳	処理形態別内訳	し尿処理施設	562,541	kℓ / 年	
		ごみ堆肥化施設	0	kℓ / 年	
		メタン化施設	0	kℓ / 年	
		下水道投入	0	kℓ / 年	
		農地還元	0	kℓ / 年	
		そ の 他	0	kℓ / 年	
		小 計	562,541	kℓ / 年	
自 家 処 理 量		0	kℓ / 年		
総 排 出 量		562,541	kℓ / 年		

(3) し尿処理のフロー図



- ・ 計画処理率 (②/①) = 100% (人口ベース)
- ・ 水洗化率 (③/①) = 95.6%
  - 公共下水道水洗化率 (⑦/①) = 56.5%
  - コミュニティ・プラント水洗化率 (⑧/①) = 0.2%
  - 集落排水施設等水洗化率 (⑨/①) = 4.3%
  - 浄化槽水洗化率 (⑩/①) = 34.6%
- ・ 非水洗化率 (④/①) = 4.4%
  - 総人口における計画収集率 (⑤/①) = 4.4%
  - 非水洗化人口における計画収集率 (⑤/④) = 100.0%
  - 総人口における自家処理率 (⑥/①) = 0.0%
  - 非水洗化人口における自家処理率 (⑥/④) = 0.0%

(4) し尿処理の内訳

処 理 内 訳

(収集し尿処理内訳比率)

し尿処理施設  
562,541  
kℓ / 年  
100.0%

施設数と処理能力

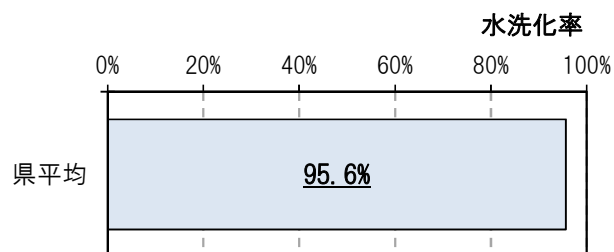
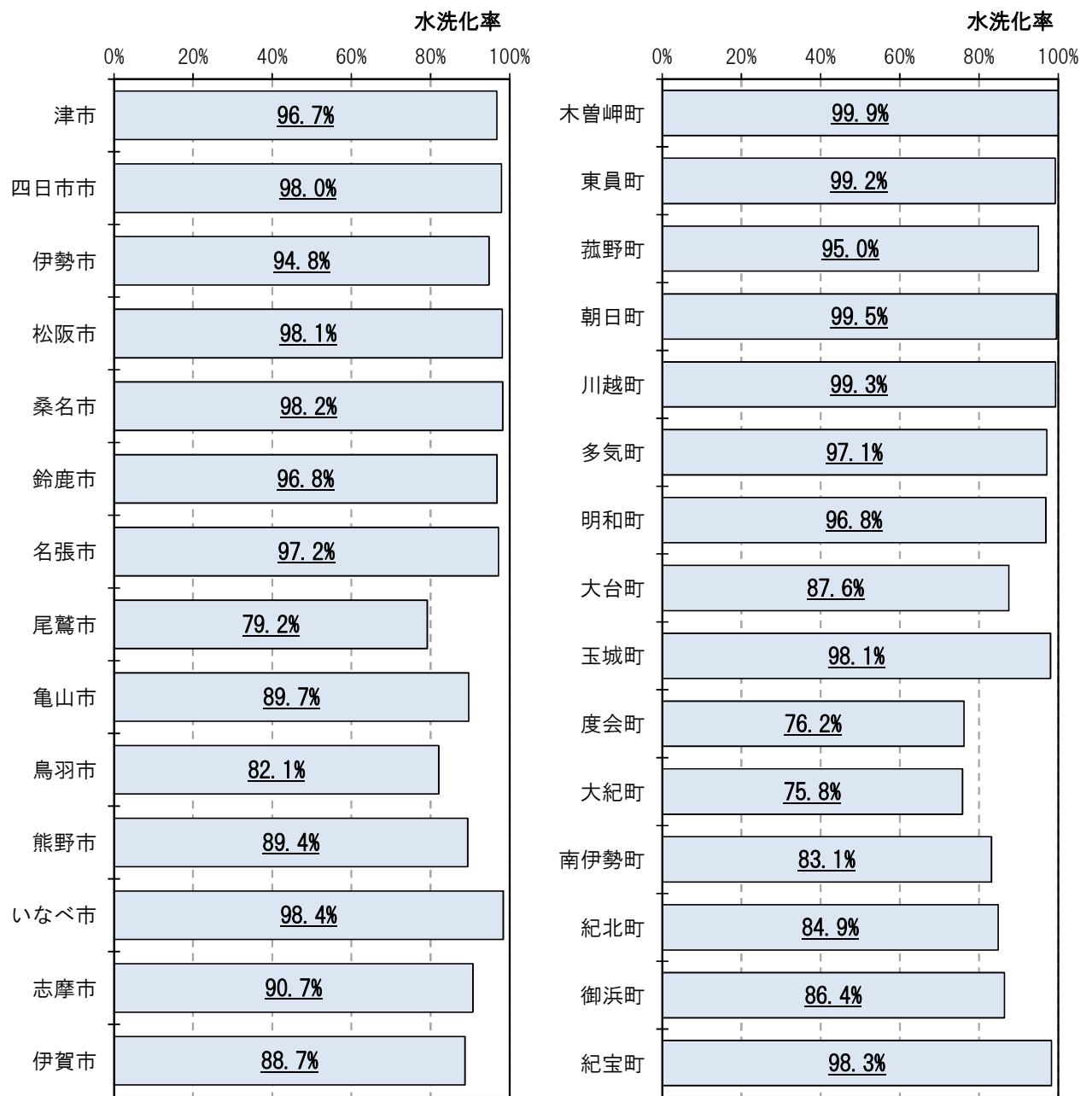
施設種別	施設数	公称能力 (kℓ / 日)
嫌気性処理方式	0	0
好気性処理方式	0	0
標準脱窒素方式	4	653
高負荷脱窒素方式	10	1,517
膜分離方式	9	982
下水投入方式	0	0
計	15	2,205

※ 令和5年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

- ・ 計画処理量（含む浄化槽汚泥）  $(13) + (14) + (15) + (16) + (17) + (18) = 562,541 \text{ kℓ / 年} \dots\dots a$
- ・ 総処理量（計画処理量＋自家処理）  $(13) + (14) + (15) + (16) + (17) + (18) + (19) = 562,541 \text{ kℓ / 年} \dots b$
- ・ し尿処理施設及び下水道投入による処理率  
 $(13) + (16) / a = 100.0\%$
- ・ 1人1日あたりのし尿計画処理量  
 $((a - (12)) \times 10^3) / ((5) \times 366) = 2.91 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿排出量  
 $((b - (12)) \times 10^3) / ((4) \times 366) = 2.91 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥計画処理量  
 $((12) \times 10^3) / (((8) + (9) + (10)) \times 366) = 1.91 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥排出量  
 $((12) \times 10^3) / (((8) + (9) + (10)) \times 366) = 1.91 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿及び浄化槽汚泥排出量  
 $(b \times 10^3) / (((4) + (8) + (9) + (10)) \times 366) = 2.01 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$

(5) 水洗化率



## (6) し尿処理形態の推移

項目／年度	単 位	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
計 画 処 理 区域内人口	人	1,756,672	1,772,560	1,785,633	1,800,585	1,812,396
水洗化人口	人	1,680,212	1,689,429	1,696,932	1,703,991	1,711,468
公共下水道	人	993,298	978,967	968,332	978,903	959,896
コミュニティ・プラント	人	3,650	3,672	3,365	3,385	3,389
集落排水施設 等	人	75,618	77,402	80,269	-	-
浄化槽	人	607,646	629,388	644,966	721,703	748,183
非水洗化人口	人	76,460	83,131	88,701	96,594	100,928
し尿処理施設	kl / 年	562,541	575,824	575,867	591,994	603,744
下水道投入	kl / 年	0	0	0	0	0
その他	kl / 年	0	0	0	0	0
計(a)	kl / 年	562,541	575,824	575,867	591,994	603,744
自家処理量(b)	kl / 年	0	0	0	0	0
計画処理区域内の 総処理量(a)+(b)	kl / 年	562,541	575,824	575,867	591,994	603,744
項目／年度	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
計 画 処 理 区域内人口	人	1,820,731	1,829,745	1,834,621	1,836,741	1,827,595
水洗化人口	人	1,708,939	1,728,767	1,721,013	1,716,778	1,698,196
公共下水道	人	966,920	940,787	892,401	879,245	835,503
コミュニティ・プラント	人	3,065	3,369	3,311	3,332	7,166
集落排水施設 等	人	-	-	-	-	-
浄化槽	人	738,954	784,611	825,301	834,201	855,527
非水洗化人口	人	111,792	100,978	113,608	119,963	129,399
し尿処理施設	kl / 年	614,904	613,535	620,050	614,271	624,576
下水道投入	kl / 年	0	0	0	9,142	9,413
その他	kl / 年	115	154	145	162	163
計(a)	kl / 年	615,019	613,689	620,195	623,575	634,152
自家処理量(b)	kl / 年	0	0	0	0	0
計画処理区域内の 総処理量(a)+(b)	kl / 年	615,019	613,689	620,195	623,575	634,152



処理量(千㎥/年)

### し尿処理形態の推移

